

## 令和4年度 第5回 都田南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 2月20日（月） 15時30分から16時50分まで
- 2 開催場所 都田南小学校 ふれあいルーム
- 3 出席委員 馬淵 信夫、山下 泰弘、神間 智博、長谷川 卓人、牧田 景子
- 4 欠席委員 石田 由紀子
- 5 学 校 鵜飼和生（校長）、大石智香子（教頭）、鈴木郁夫（生徒指導主任）、谷野文彦（CS担当教員）、服部美保（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議事項
  - （1）議長の選出について
  - （2）令和5年度の経営方針について
  - （3）学校運営協議会の自己評価について
  - （4）承認
- 8 報告事項
  - （1）いじめ防止基本方針について
  - （2）夢育活動について
  - （3）CSの活動について
- 9 会議録作成者 事務局 服部美保
- 10 会議記録

### （1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、長谷川委員を議長に推挙する意見があり全員異議なくこれを承認した。

### （2）令和5年度の経営方針について

鵜飼校長から、令和5年度の経営方針について別紙資料に基づき説明があった。委員から以下の発言があった。

・学校経営構想の具体的な取り組みの中で「教科横断的な視点に立った言語能力の育成」とあるがどういう意味か。（山下委員）

・どの教科においても、文章をまとめる力、発表する力は必要であり能力を上げていきたいと考えている。（校長）

・子供の実態として主体的に行動することが苦手だという問題も、言語能力が上がれば適切な自己主張ができるようになると思う。（山下委員）

・どこの学校でも同じ問題を抱えていると思う。言われたことはできるが主体的に動けない子供が多い。テレビで子供にインタビューする場面を見ても、子供によって語彙能力に差があると思う。話をするにはまず聞くという能力が必要。キャリア教育として講座を考えると良いのでは。ラジオキャスターの方に話し方教室をしてもらうなど有効的だと思う。（神間委員）

・「安心・安全な学校としてセーフティーネットとしての役割」とあるが、家庭訪問はセーフティーネットとしての大切な役割を果たしていると思う。来年度は実施できるのか。(牧田委員)

・三者面談を考えている。家庭訪問は有効だと考えているが、時間的な制約もあり訪問を嫌がる家庭もある。コロナ禍で家庭と学校の連携が薄くなっていると思う。保護者同士の連携も大切だと感じている。(校長)

・浜松市として家庭訪問の考え方の基準はあるのか。(山下委員)

・市としての基準は特にない。(校長)

・個人情報保護の意識で家庭訪問を嫌がる人が増えていると思う。家庭訪問は大変だけどとても有効だと思う。自分の経験を通して、必要に応じて家庭訪問を実施した方が良いと強く感じている。(山下委員)

・キャリア教育というワードが多く出てきて嬉しい。海外の子供と比べると、自分の進路について周りに流されてなんとなく進学や就職する子供が多いと思う。小・中・高と自分の個性を感じながら成長して欲しいなと思う。(長谷川委員)

・「ドローンと私達の未来」という内容で講師をした時に、子供たちはとても積極的に参加してくれた。今の子供たちはスティックコントロールがとても上手い。将来ドローンが仕事になると話し、どういう仕事ができるか考えさせた。将来はドローンパイロットになりたいという子もいた。小さい頃に体験したことがきっかけになり、将来につながる子もいると思う。(神間委員)

・6年生の夢講話では牧田さんが講師の方を紹介してくれた。卒業文集にも出てくるほど好評だった。(校長)

・子供の実態で、困難な課題に対してやり抜くことが苦手とあるが、周りの人の声掛けが大切だと思う。例えば牛乳をこぼしてしまったときに、「駄目だよ。」ではなく、「拭けばいいんだよ。」という前向きな声掛けをしてほしいと思う。失敗を恐れる子供が多いのは幼い頃の経験があるのかなと思う。(牧田委員)

・学校の指導でもそのような声掛けをしていきたい。(教頭)

・家庭(保護者)にも共有してほしいと思う。(牧田委員)

・「チーム都田南」の意識を大切に共有して欲しい。学校での問題も担任だけの責任でなく職員全員で対応する。誰にでも得手不得手があるからチームとして子供の指導をはじめ、課題に取り組むことを前面に出してやっていけると良いなと思う。(山下委員)

### (3) 学校運営協議会の自己評価について

CS担当の谷野教諭から、学校運営協議会の自己評価について別紙資料に基づき説明があった。委員から以下の発言があった。

・昨年度の自己評価にもあったが、CS活動の周知が必要だと感じる。アイデアがあれば知りたい。(山下委員)

・個人的にはInstagramが良いと思う。通知型で自分から情報を取りに行かなくても情報が自然に入ってくる。小学校としてInstagramを開設している例が県外にあり閲覧数も多い。周知には有効だと思うが浜松市が許可を出してくれないと進め

られない。(牧田委員)

- ・インスタグラムでボランティアさんの募集もできるのか。(山下委員)
- ・インスタグラムを小学校でやっていると言うことは、先生がその作業をやっているということですね。(山下委員)
- ・学校だよりとCSだよりが一緒になったというイメージ。先生がこの作業をすると負担だと思う。ブログに似ているがブログだと自分で見に行かないと情報が入ってこない。そうすると、なかなか周知にまでは至らないと思う。(牧田委員)
- ・フェイスブックでボランティアを募集している学校もあった。「いいね！」ボタンを押すと関連のある情報がどんどん来るようになる。(長谷川委員)
- ・ユーチューブも同様。(山下委員)
- ・SNSの活用については教育委員会に確認が必要になる。(長谷川委員)
- ・個人情報保護の観点から難しい面もある。(校長)
- ・インスタグラム等実際にやっている学校に連絡を取って情報交換してくれると良いと思う。(牧田委員)

#### (4) 承認

全ての協議事項について、全員異議なくこれを承認した。

### 1 1 報告事項

#### (1) いじめ防止基本方針について

生徒指導主任の鈴木教諭から、いじめ防止基本方針について別紙資料の説明があった。現在、内容を見直して案を作成している段階。明日、全職員で見直しを行い4月には完成させたいと考えている。委員には内容の確認と、意見等あれば後日学校へ連絡いただくよう依頼した。

#### (2) 夢育活動について

教頭から、夢育やらまいか事業について年度末の報告があった。

#### (3) CSの活動について

学校支援コーディネーターの牧田委員から、近況報告があった。

- ・ボランティアによる扇風機カバーが完成した。60近くの全教室にある扇風機にカバーを付けることができた。最後の作業工程のゴム通しには児童にも協力してもらった。完成までには、材料の提供も含めたくさんの方のボランティアによる協力があった。次回のCSだよりで報告する予定。

- ・2月25日に「都田の力」主催による6年生の自転車教室が開かれる。昨年よりも参加者が2倍に増え、約40人が参加する予定。中学生ボランティアも20人来てくれる。

こういった活動を継続させるには、やはりボランティアの力が必要。

- ・CSルーム前の掲示板が完成した。是非見て欲しい。

#### その他報告事項等

- ・馬淵委員から、「満蒙開拓と浜松」発行と都田図書館への寄付の報告があった。
- ・馬淵委員、山下委員から退任の挨拶があった。
- ・谷野教諭から来年度の協議会の開催予定日の報告があった。